

フライアッシュコンクリート試行工事における特記仕様書の施工条件明示例

〈事例 〇〇〉(フライアッシュコンクリート試行工事を実施する場合、**必須**)

第〇〇条 フライアッシュコンクリート試行工事について

本工事は、コンクリートの耐久性の向上によるコンクリート構造物の長寿命化と建設資材の地域的な活用による環境負荷低減を目指し、コンクリートへのフライアッシュの有効利用の検討に資することを目的とした試行対象工事である。なお、フライアッシュコンクリートの供給条件が整わない場合、受注者は発注者と協議のうえ、高炉セメントへの変更を可能とする。

第〇〇条 適用

- (1) フライアッシュコンクリートを使用する無筋、鉄筋コンクリート構造物について適用するものとする。
- (2) 本特記仕様書に定めのない事項については、「北陸地方におけるフライアッシュコンクリートの配合・製造及び施工マニュアル(案) (平成30年12月) (北陸地方におけるコンクリートへのフライアッシュの有効利用促進検討委員会：以下「委員会」という)」によるものとする。この施工マニュアル(案)は、北陸電力のホームページから入手できる。

(<https://www.rikuden.co.jp/ash/riyou.html>)

第〇〇条 設計図書、参考資料の取扱い

試行工事の対象となる構造物については、設計図、参考設計図、工事費積算書(金抜き設計書)、数量計算書に「高炉」または「BB」と記載されているものを「フライアッシュ」または「FB」と読み替えるものとする。

BB：高炉セメントB種 FB：フライアッシュセメントB種

第〇〇条 フライアッシュコンクリート単価の取り扱い

試行工事の対象となる構造物の積算にあたって、フライアッシュコンクリートの積算単価は、同地区、同規格の高炉B種を用いたコンクリートと同単価として取り扱っている。

第〇〇条 コンクリート配合

使用目的別の配合諸元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (Cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	W/C (%)	FA (kg/m ³)	セメントの 種類	使用目的
1	18	8	40	60以下	—	FB	擁壁(無筋)
2	30	12	40	50以下	置換率 15%以上 20% 以下	N	橋台(鉄筋)

※FB：フライアッシュセメントB種

※混和材としてフライアッシュを使用するコンクリートについては、水セメント比(W/C)を水結合材比に読み替える。

第〇〇条 試験・調査等への協力

後日指定する工事については、委員会事務局が施工性、品質の確認試験を別途実施するので、該当工事となった場合は、委員会事務局と密に連絡をとるとともに、試験・調査等に協力するものとする。(費用については、

委員会事務局が負担する。)

試験内容 ポンプ圧送性、ブリーディング状況、コンクリート温度測定、ひずみ測定等

〈事例 〇〇-2〉(フライアッシュコンクリート試行工事において打設量が300m³以上の場合、**必須**)

第〇〇条 アンケート調査の実施

受注者は、別紙「フライアッシュコンクリート試行工事に関するアンケート」に回答し、工事完成時に提出しなければならない。